NO	項 目 (書類名称・ページ・項目など)	質 問 内 容	回 答
1	表紙・タイトルについて	タイトルの提案は可能でしょうか。 広報誌のロゴを変えて OK でしたら SU: CCESSの、コロン (:) は削除するなどは可能でしょうか	タイトルについては提案外となり、表記についても変更はできません。 なお、字体や色合いなどのデザインを変更いただくことは問題ありません。
2	P1, 審査会について	審査会でのプレゼンですが、プレゼンテーション、 質疑応答の各時間・参加人数の上限・ご用意できる 設備（プロジェクターなど）は教えてください。	時間：プレゼンテーション10分、質疑応答5分 参加人数：審査会会場への入室は3名まで 設備：審査会会場にはプレゼンテーション資料投影用のPC・モニターを準備します。投影をご希望の場合は、当日、事務局にてデータをお預かりします。
3	P7 (2) その他の留意事項	③ 企画提案書は、1 事業者につき 1 案とし、複数の提案はできないとありますが表紙も 1 案のみの提案でしょうか。	全事業に係るご提案は1案ですが、表紙など一部の構成について複数提案は問題ございません。
4	仕様書-2P-1.業務の背景と目的	主な配布先や設置場所、流通方法を教えてください。(例：企業へ個別発送、地域の公共施設への配布、企業や学校関係へ訪問時に持参など)	定期的なパートナー企業(インターンシップや基金にご協力いただいている企業)への配付、地域の公共施設(市民センター等)での配布、企業や学校関係へ訪問時に持参などです。また、オープンキャンパスや入学式等のイベント時にも配布しております。
5	仕様書-2P-1.業務の背景と目的	広報誌発行後の効果測定(定量的・定性的)はどのように行われていますか？	大学広報は受験生、在校生、地域住民、地域企業などステークホルダーが多様であり、入試広報においては、受験生の増加等が効果測定の指標の1つになると考えますが、本学の広報誌は入試広報を主な目的としておらず、効果測定を測ることは難しいと考えています。公立化して4年目、新学部学科に改組して2年目ということもあり、まだまだ情報発信が十分にできているとは言えない状況であり、まずは情報発信を優先していくという方針です。
6	仕様書-2P-1.業務の背景と目的	大学側で期待されている成果やKPI(目標に至る各プロセスの達成度合の測定・監視)があれば、可能な範囲で教えてください	広く大学の活動や取り組みを知っていただき、連携等のきっかけ作りになればと考えています。
7	仕様書-2P-1.業務の背景と目的	広報誌の主なターゲット(読者層)は一般・企業とありますが、可能な範囲で具体的に教えていただけますでしょうか。(例：企業経営者、企業採用担当者、教育機関関係者、地域住民、高校生と保護者、卒業生など)	具体的にはお示しいただいているとおり、企業経営者、企業採用担当者、教育機関関係者、地域住民、高校生と保護者、卒業生(後援会含む)を主なターゲットとして考えています。
8	仕様書	タイトルの「SU: CCESS」は継続・継承でしょうか？	上記No.1の回答と同様です。
9	仕様書-2P-1.業務の背景と目的	編集方針は以下の認識で相違ないでしょうか？ 『SU: CCESS』は、地域とともにある大学としての姿勢を発信する広報誌であり、産官学金の連携や在学生・卒業生の活躍紹介、実践的な地域教育(地域ゼミや活動報告など)を通じて、“大学が地域に何をもたらしているか”を多角的に伝えることを目的としている。デザインは親しみやすく、地域との近さや若々しさを意識したビジュアルが特徴である。 併せて、もし上記に加えるべき視点や今後重視されるテーマがあれば、ご教示ください。	概ねご理解いただいている通りです。 「SU: CCESS (サクセス)」は、“Shunan University: Co-Creative Engine for a Sustainable Shunan”の頭文字を取ったもので、「周南地域の持続的発展と価値創造のための成長エンジンとなる」という本学のミッションを表しています。 大学としての展望や教員、学生の活動等を地域の方、地域企業へ広く伝えることを目的としています。